

自昭和十九年六月二十日
至昭和十九年六月三十日

陣中日誌

枚數
表紙附表共二十九枚

第一號

27814

獨立混成第十五聯隊第三大隊

附

三七軍容検査終了後大隊長全員ニ對シ出征、覺悟及爾後ニ於ケル教育訓練、要望等ニ関シ訓示ヲ行フ

尚將校ニ對シテハ別ニ實施ス

四本部及各中隊隊、編成表 別紙附表第一如シ

五准尉以上、職員表 別紙附表第二如シ

六明三十四日兼練習志野ニ轉營ノメ左記、ヤ、大隊命令ヲ下達ス

西日令第一號 大隊命令 甲府中學校

(一)大隊八明三十四日甲府發同日ノ迄ニ兼練習志野東新廠舎ニ轉營セントス

(二)尾崎中尉ハ大隊主力ノ輸送指揮官トス 輸送ニ関シ處置ヲ講ヌヘシ

(三)大隊將校全員(尾崎中尉及設營將校ヲ除ク)ハ二十四日〇ニニ甲府發ノ列車ニ依リ同日〇〇〇迄ニ西廠舎ニ到着シ

日九〇〇ヨリ實施セラル、歩校職員、教育ニ出場スヘシ

(四)廣瀬少尉若林主計少尉大隊本部ヨリ下士官ニ兵三一機各中隊ヨリ下士官一兵五機間銃中隊ヨリ下士官一兵四機設營者トシテ二三五五甲府發列車ニテ習志野東新廠舎ニ派遣シ設營ニ任セシム可シ

五前第四項ノ輸送ハ先任者、引率トシ輸送ハ動員担任部隊ノ担任トシ前第三項ノ輸送其他ハ大隊ニ於テ担任處理スルモノトス

六第三項及第四項ニ示ス人員、給與ハ二十四日晝食迄携行食ニ依ルモノトシ二十四日ノ食ハ東部第九部隊ノ給與ヲ受クルモノトス

(六)大隊全員ノ給與ハ二十五日朝食ヨリ自隊部隊ノ自炊ニヨルモノトス

(七)大隊主力ノ到着(津田迄)ヨリ廠舎ニ到ル間、荷物搬送及

廠營間、宿營ニ関シテハ、自動車隊長ノ援助アル等ナリ
ハ先發者ハ、廠合到着ニ先タク自動車隊ニ列リ宿營準備
ニ給與ニ関シ所要ノ連絡ヲ支ヘシ

大隊長 西村大尉

下達法 口達筆記セシム

甲府中學校

輸送指揮官命令

(一) 大隊主力ハ大隊命令ニ基キ六月二十三日二十四日甲府驛
ニ於テ乘車習志野東新廠舎ニ向ヒ出發セシラス
(二) 輸送各掛左ノ如シ

人員塔載

三浦 准尉

同

長崎 曹長

兵器彈藥材料塔載

青木 軍曹

同

熊田 軍曹

同

佐藤 軍曹

同

小林 伍長

(三) 乘下車ハ喇叭一聲ノ號音ヲ以テス

途中下車ニ警禁ス

(四) 本部及各隊ハ先任下士官ノ引率ヲ以テニ三日迄甲府

驛前廣場ニ北面大隊ノ縱隊ニ集合輸送各掛ノ指示

ヲ受ケシ

(五) 兵器彈藥材料ハ各掛ノ指示ニ基キ各隊下士官以下所要
ノ人員ヲ以テ積之処ニ卸下スルシ

(六) 各隊梱包ハ二十二時迄申附驛ニ搬入スルモノハ
之ニ要スル自動車ハ本部ニ於テ手配ス候機兵ハ各隊差出

スルシ

(七) 其ノ他細部ハ別命ス

輸送指揮官

尾崎 中尉

(八) 陸軍少尉 宮森榮四郎 疾病ノタメ原隊ニ復帰ス

命セラル

九 陸軍伍長 相澤兵一郎 終戦部隊要員として二十一日到着
セルモ 疾病、夕ノ原隊ニ復歸ヲ命セラル

六月二十四日
土曜日 晴

千葉縣習志野
東新廠舎

一 昨二十三日附西命令第一號ニヨリ先發隊ハ、今四歩校職員ノ
教育ニ出場、特校ハ、一言 尾崎中尉、指揮スル大隊主
力ハ一六〇〇其々豫定ノ通り、千葉縣習志野東新廠舎人員共
、他異狀ナク到着宿營ス

二 至一六〇〇 特校ハ歩校職員ノ實施セル教育ニ全員(歩隊中隊ノ除ク)
出場セリ

三 美日命令第一號聯隊命令受領ス 千葉縣習志野東新廠舎
美日命令第一號聯隊命令拔萃左ノ如シ

(二) 舎營區分左ノ如シ

聯隊本部 第三大隊 聯隊砲中隊 歩兵砲中隊 工兵中隊

東新廠舎 第一大隊 第二大隊 速射砲中隊 通信隊

東廠舎

(三) 廠營間、日課時限ヲ左ノ如ク定ム

起床及日朝點呼

診 所

晝 食

會 報

夕 食

日夕點呼

消 燈

四	月 日	日 直 司 令	司 副 官
有 三 番 目	小 野 寺 中 尉	湯 原 曹 長	
三 番 目	松 村 中 尉	大 龜 曹 長	

五〇〇

六〇〇

一〇〇

一〇〇

一〇〇

二〇〇

二〇〇

六月三日	齋崎中尉	木坂軍曹
三日	鈴木中尉	大河内曹長

日直勤務者右ノ如ク服務スヘシ

日直勤務者ノ交代ハ一ニ、ワロトス

本二十四日日直勤務者ハ一六、ワロヨリ服務スヘシ

五内務衛兵左ノ如ク服務スヘシ

二十四日 第一大隊 二十五日 第二大隊

二十六日 第三大隊 其ノ後ハ右ニ準テス

二十四日 内務衛兵ハ一、ハ、ワロヨリ服務スヘシ

内務衛兵ノ交代ハ、ワ、ワ、ワトス 軍裝検査ハ衛兵所前ニ於テ實施ス 服装ハ軍裝検査時ノ服装トス

内務衛兵ヲ左ノ如ク編成ス

司令 一 衛會掛 一 歩哨掛 一 歩哨 九

喇ハ一

(六) 食需傳票ハ從前ノ通りトス

明ニ吾朝食ヲ各中隊ヨリ發行スヘシ

(七) 遠射砲中隊 第三大隊 歩兵砲中隊ノ本二十四日夕食ハ東

部第九部隊ノ給與トス

右各隊ニテ現品ヲ携行セルモハ各隊毎ニ取り纏メ二十五日一、二、ワ

迄ニ炊事ニ差出スヘシ

ハノ浴ニ關シ左ノ通り心得フヘシ

東廠舎ハ第一大隊 第二大隊 協定スヘシ

東新廠舎ハ浴割ニ關シテハ追テ指示ス

(二) 廠營規定ニ關シテハ軍隊内務令ニ依ルノ外追テ配付スル廠營規定ニ依ルヘシ

其他ノ事項ニ關シハ司令區署スヘシ

四 西日令第ニ號大隊命令下達ス

習志野東新廠舎

一、各隊ハ先發者ノ指示ニ隨ヒ習志野東新廠舎ニ宿營スヘシ

(二) 本月二十四日日直司令 沼田中尉トス
 衛兵ハ第七中隊ヨリ司令下士官一歩哨掛上等兵一歩哨三
 巡察長以下三名喇以手一名ヲ本一九〇ニ差出シ日直司
 令指揮下ニ入ラシムハシ

(三) 各勤務ノ交代ハ〇七〇トス
 (四) 日課時限左ノ如シ

起 床 〇五〇〇 日朝點呼 〇五、一〇
 朝 食 〇六〇〇 晝 食 一ニ〇〇〇
 夕 食 一八〇〇 日夕點呼 二〇、〇〇
 消 燈 二一〇〇

大隊長 西村大尉

各隊司令受領者ヲ稟、口達筆記セシム

五現在人員左ノ如シ

將 校 見習官 准士官 下士官 兵 計

一九 一 一 六六 三九一 四七八

六月二十五日 一、砲一六〇、二、四日引續、歩校職員ノ教育ニ將校全員ハ大隊

日曜日晴 副官隊(出場ス)

十葉標總志 二一二〇 聯隊長 陸軍大佐 美田十真藏 着任セラル

野東新廠舎 三二三〇 聯隊長ニ將校全員申告ヲス

四、砲一六〇、各中銃隊ハ夜間演習ヲ實施ス

五、美日命第二號聯隊命令受領ス 習志野東新廠舎

美日命第二號聯隊命令撤革左ノ如シ

(二) 左ノ如ク赤痢豫防接種ヲ實施ス

東廠舎第一大隊軍醫 第一大隊及 TA 第二大隊軍醫
 第二大隊及通信中隊 東新廠舎 第三大隊軍醫
 第三大隊及 TA 本部附軍醫 本部及 TA

二十六日ヨリ各隊同時ニ開始スル 豫防接種ヲ受クキ
場所ニ関シテハ追ッテ指示ス

四 第三大隊ヨリ十五日一ニシテ送下官一ヲ差出シ第一大隊ヨリ
差出アル炊事掛下官ト交代服務スヘシ

五 六月二十四日命令(美日命令第一號)第三項日課時限ヲ左ノ通り
訂正ス

日夕點呼ニマロトアルヲニマシヨ 清澄ニマロトアルヲニマシヨ
陸軍少尉 廣瀬 勇

陸軍一等兵 淺野 惣七
右ノ者即日歸隊ノ豫定ヲ以テ事務連絡ノメ教育總監
部ニ出張ヲ命ス

六 美日命令第一號 追加命令受領ス 習志野東新廠舎
七 美日命令第二號 追加命令受領ス 習志野東新廠舎

三 本職二十五日東部第卅四部隊ニ出張ス

陸軍少尉 石井 秀久

本職ニ隨行ヲ命ス

陸軍少尉 石井 秀久

一 本職明二十六日東京師團司令部ニ出張ス(即日歸隊)

依ッテ七、四ノ左ノ如ク本廠舎前ニ集合スヘシ
隊形ハ各隊六列縱隊間隔ナシ(各大隊間隔ニ步ス)

細部ニ関シテハ現地ニ於テ指示ス
服装ハ單獨ノ軍裝ニシテ略檢佩用

一 明二十六日ヨリ左ノ如ク兵器機能検査ヲ實施ス

左記
一 實施課日重火器全部(輕機槍彈筒部品ヲ含ム)
二 實施場所 各中隊ノ砲廠前

(3) 立會者 兵器掛將校 同下士官
 (4) 建制順序

(5) 第三大隊ヨリ下士官一兵六ヲ明美日。八ヨリ連部
 隊本部前ニ差出シ石井少尉ノ指示ヲ受ケシムヘシ
 服装ハ内務衛兵ト同シ

右ノ者ハ當分ノ間引續キ服務スルモノトス
 之カ給與ハ第三大隊本部担任スヘシ

八本日左ノ兵器ヲ受領ス

品目	員數	品目	員數
夜光羅針	三八	三式角型双眼鏡	二
九八式小口匙	二六〇	手旗	三八
鐮	二三	徹光燈	一四
鉈	七	紐付小刀	八
小十字鉞	五〇	携帶警報器	五

中山 鋸 五 輕鐵條 三 七

九現在人員左ノ如シ

將校	見置官	准士官	下士官	兵	計
一九	一	一	三九六	三九一	四七八

六月二十六日 一〇九〇 聯隊長 聯隊將兵一同ニ對シ訓示ヲ行フ

月曜日晴 訓示ノ要旨左ノ如シ

千葉縣夏野 東新廠舎
 一 戦力充實
 二 敢闘精神

三 巖正ナル軍紀

二 一〇、〇、〇ヨリ將校少校職員ノ實施セル教育ニ出場ス
 三 一〇、〇、〇ヨリ第七中隊 第九中隊 第三機關銃中隊

編成改編ヲ行フ

改正編成表

別紙第三ノ如シ

四一七〇〇西日命第三號大隊命令下達ス 習志野東新廠舎

西日命第三號大隊命令

(一) 明二十七日〇三〇ヨリ大隊將兵ニ對シ大隊長訓示ヲ行フ

依ツテ本部及各中銃隊ハ本部前ニコ、字形ニ集合スヘシ

服裝ハ單獨、軍裝トス

(二) 明二十七日教育ニ関シ左記ノ如ク指示ス

左記

(一) 前項訓示迄ニ本部各中隊(第〇中隊ヲ除外)ハ敵火、下ニ於

ケル作業ヲ實施スシ(約二〇間)築城教範第二部ニ依ル

ヘシ

(二) 自二二〇〇 大隊長幹部教育ヲ實施ス(訓示終了後)

(三) 一三〇〇 小隊長以上對シ大隊長幹部教育ヲ實施ス

其間兵ハ射擊豫行演習(約二〇間)第三第四匍匐教

二同約〇三〇基本体操〇三〇實施スヘシ

(四) 一五〇〇以降ハ明後日ノ教育ヲ考慮シ各中銃隊ハ鐵條網破

壞及ト一ナカ攻撃教育準備ヲ實施スヘシ

夜間ハ戰車攻撃部位ヲ教育スヘシ

五 美日命第三號 聯隊命令受領ス 習志野東新廠舎

美日命第三號 聯隊命令撤去左ノ如シ

(一) 美日命第三號 追加命令第一五號項第三大隊ヲ第一大

隊ニ變更ス

(二) 美日命第三號第二項ヲ消除ス

(四) 戰時イロハ留守担当者名簿不足分アルニ付各隊ハ

人員表ト照合シカ―ドヲ作製シ聯隊本部ニ提出

相成度シ

(六) 考科表戰時名簿等不足分(人名並轉屬部隊名)遠カニ

聯隊本部ニ提出スヘシ

七左記ノ如ク豫防接種ヲ實施ス

左記

赤痢 第一回 二十七日

三種混合 第二回 二十八日

赤痢 第二回 三十日

實施要領 第一大隊及遠射砲中隊、第一大隊軍醫

第二大隊及通信中隊、第二大隊軍醫、第三大隊

及歩兵砲中隊、第三大隊軍醫、聯隊本部及工兵中隊、

聯隊本部高級軍醫

開始時刻 〇、八、〇

場所、各大隊本部ニ於テ區署スヘシ

聯隊本部、聯隊本部舎前トス

六現在人員左ノ如シ

將 校 見習士官 准士官 下士官 兵 計

一九 一 一 六六 三九一 四七八

六月二十七日 一〇八、〇〇ヨリ第八中隊編成改編ヲ行フ 改正編成表別紙附表

火曜 晴 第三、如シ

千葉縣野 二、〇、三、〇ヨリ大隊長編成改編ニ伴ヒ大隊將兵全員ニ對シ訓示

兼新廠舎 ヲ實施ス 訓示ノ要旨左ノ如シ

一 至嚴ナル軍紀ノ確立

二 攻撃精神ノ旺盛

三 戦力ノ充實

四 創意工夫

引續キ聯隊長右要旨ヲ發行訓示ス

三二、〇ヨリ大隊長夜間攻撃一般要領ニツイテ大隊將校ニ對シ

現地教育ヲ實施ス

四 自一三〇〇 陣地攻撃一般要領ニ就テ大隊長將校教育ヲ實施ス
 五 自一三〇〇 各中隊下士官以下各隊毎ニ射撃豫行演習等ニ等
 四 匍匐 基本体操ヲ實施ス

六 西日命第三號 大隊命令下達ス 習志野界新廠舎

(一) 明二十八日行事及教育左ノ如シ

(二) 〇八〇〇 豫防接種ヲ實施ス

場所ハ 本部宿舎前トス

(三) 一〇〇〇ヨリ地雷搜索處理ノ學科

一 一〇〇〇ヨリ午後二時ヨリ射撃率攻撃教育ヲ本部及各中隊

毎ニ實施スヘシ

(四) 本部及各中隊隊ハ左ノ書類整理ヲ實施シ其ノ狀況ヲ二十八

正午迄ニ大隊長ニ報告スヘシ

左記

考科表

一 戦時名簿

二 功績名簿

三 兵身上明細簿

(四) 一般中隊ハ煮煉子ニ名撰定シ明日ヨリ聯隊ニ於テ行フ教育ニ

出場セシムシ

四 三三三、着子七ヨリ大隊本部ニ勤務スヘシ

第廿中隊 陸軍兵長 渥美義男

同 同 阿部武次郎

同 陸軍二等兵 早坂久志

第廿中隊 陸軍兵長 長谷川隆司

同 同 五十嵐護

同 陸軍上等兵 伊藤浪雄

第廿中隊 陸軍上等兵 高橋太輔

同 同 古和田康平

陸軍軍兵 中山 猛

七美日命第四號聯隊命令受領ス
習志野東新廠舎

八美日命第四號追加命令受領ス
習志野東新廠舎

美日命第四號聯隊命令披革左ノ如シ

日直勤務割

月日	曜	司 令	副 官
二十八日	水	大門中尉	田開曹長
二十九日	木	西村中尉	保田曹長
三十日	金	森岡中尉	中村曹長
一日	土	小倉中尉	飯田曹長

右ノ通、服務スヘシ

美日命第四號追加命令披革左ノ如シ

(注)本廠舎弁ヲ水ハ不良ニシテ飲料ニ不適現在下痢患者多發

シアルニ付キ之ヲ飲料ハ嚴禁ス

飲料水ハ炊事ヨリ湯茶ヲ使用スシ

之ヲ為一、二、三及一四、五炊事ニ於テ準備ス

依ッテ水筒其他用器ヨリ保持スシ

九現在人員左ノ如シ

將 校	見習曹長	中 士 官	下 士 官	兵	計
二	一	二	六五	三九一	四七九

六月三十日 一、二、三三種混合隊防接種ヲ實施ス

水曜日 晴 二、三ヨリ大隊長 大隊將校(副官ヲ除ク)全員ニ對シ地雷搜索

千葉縣習志 及處理ノ學科ヲ實施ス

野東新廠舎 三 自二、三ヨリ 戰車隊ヨリ中戰車 二 輕戰車ニ、應接ヲ

得テ聯隊將兵全員對戰車攻撃ノ演習ヲ實施ス

四 本日ヨリ七月首ニ至ル教育豫定表左ノ如シ

教育隊定表

月日	午前	午後	摘要
六二八	對戰車內導攻	對戰車內導攻	特設教育隊
	擊要領	擊要領	
六二九	對空射擊	地雷設置一三〇	二紀、外特設教育
	小隊夜間攻擊	中隊夜間攻擊	島嶼射擊
六三〇	接身奇襲	前進要領	
	敵火下之接身奇襲	地雷設置	
	陣地確保	陣地確保	
	中隊綜合訓練	大隊教練	
七一	各種要領	大隊長指導	
	乘船及遭難時	豫備	
七二	對空射擊	幹部教育	

備考(一)本表ノ外基体操(跳下ヲ含ム)ヲ約三〇分實施

(二)狀況ニヨリ若干變更スルコトアルヘシ

五 改編ニ准耐以上ノ職員表別紙 附表第四ノ如シ

六 美日合隊五號聯隊命令受領ス 習志野東新廠舎

美日合隊五號聯隊命令受領ス

(五) 陸軍中尉 渡邊 喜一

陸軍技師 清水 祐一郎

本三ノ日兵器受領ノ夕ノ東京師團司令部ニ出張

ヲ命ス(即日歸隊)

(六) 陸軍主計大尉 柳 素雄

陸軍主計伍長 栗原 俊夫

陸軍主計伍長 小林 定五郎

前渡金受領ノ夕明二十九日東京師團經理部ニ出張

ヲ命ス(即日歸隊)

七、現在人員左、如シ

特	杖	見習士官	准士官	下士官	兵	計
二	一	二	六六	三九	四七九	

六月廿九日 一、至一、各中銃隊ハ豫定表ニ基テ教育ヲ實施ス

木曜日晴 二、美日合第六號聯隊命令受領ス 習志野東新廠舎

千葉縣習志 美日合第六號聯隊命令拔萃左、如シ

野東新廠舎 (一) 假編獨立混成第十五聯隊ヲ以テ獨立混成第十五聯隊ヲ編成

セシル(六月二四日附)

(二) 聯隊要員以下各特校ハ同日附ヲ以テ其々聯隊長以下各職ニ命察セラ

(三) 六月二十九日東京師團司令部ニ出張ス

(四) 陸軍中尉 志村 敬一郎

同 藤本 榮一

陸軍主計大尉 柳 素雄

陸軍軍醫中尉 町田 政也

右ノ者本職ニ隨行ヲ命ス

(六) 本月二十九日ヨリ引續キ本部ハ寢番ヲ第三大隊ヨリ差出シ

服務スシ細部ニ関シテハ市川軍曹ニ連絡セラレタシ

三、現在人員左、如シ

特	杖	見習士官	准士官	下士官	兵	計
二	一	二	六六	三九	四七九	

六月三十日 一、六、美日合第六號聯隊獨立混成第十五聯隊命令受領ス 習志野東新廠舎

金曜日晴 二、六、輸送先發隊出發ス

千葉縣習志 三、六、師團長ノ官殿下代理トシテ師團參謀長差遣ス

野東新廠舎 訓示ヲ賜フ

訓示ノ要旨左ノ如シ

一皇國精神ノ昂揚

二百戰不撓ノ軍人精神

三鞏固ナル將兵ノ團結

四美作命第二號並美日命第七號聯隊命令受領ス習志野東新廠舎

五第一次及第二次輸送命令受領ス習志野東新廠舎

大隊主力ハ第二次輸送部隊ニ屬ス

第二次輸送命令左ノ如シ

第二次輸送部隊ハ明後七月二日ヨリ四日ヨリ津田沼驛發軍用列車

ニヨリ乘船地門司ニ向ヒ前進セントス

依ツテ関原各隊ハ左記ノ如ク心得フヘシ

(一)本部及各隊ハ先任者ヲ引率ヲ以テ七月二日ヨリ三日ノ廠舎出

發ヨリ省線津田沼驛前ニ集合シ輸送各掛ヲ指示ヲ受ヘシ

(二)兵器荷物材料等ハ本三十日中ニ搬送ヲ完了スル如ク努ムヘシ

但シ搬送未了ノモノ生シタル場合ハ明一日早朝兵力ヲ以テ搬送ヲ完了スヘシ

(三)搬送ノ梱包ハ標記ヲ明瞭ニシ且送書ヲ以テ確實ニ資材掛ニ

引キ渡スモノトス

輸送各掛リ左ノ如シ

輸送副官ヲ廣瀬少尉トシ人員掛 資材掛及兵器資材ノ

積込シノタメ美作命別紙ニ依ルノ外資材掛ニ中澤少尉ヲ加フ

(四)廠舎後始末ニ関シテハ美作命第一號ニルモ防諜上ニ関シ

テハ各隊長ニ於テ實施スヘシ

(五)一般ニ途中下車ハ嚴禁スホト下車ハ別以一聲ノ號音ニ依ル

給與担任驛ノ下車ハ各隊給與係(所要便役兵共)ノシテス

(六)途中空襲ヲ受ケタル場合ノ處理ハ別ニ指示ス

(七)一般ニ辨當ヲ携行セス七月廿朝食以降ハ停車場司令部

ノ指示ヲ受ケテ辨當ハ最モ迅速ニ受領スヘシ

八、余ハ七月三日ヨリ津田沼驛ニ在リ同時ニ各隊ハ命令受領者トス

六、美作命第一號獨立混成隊第十五聯隊命令拔萃左ノ如シ

一、聯隊ハ第三十二軍ノ戦闘序列ニ編入セラル

二、聯隊ハ南西諸島ニ對リ防衛總司令官ノ轄下ニ入ラス

三、人員資材ノ輸送ニ関シテハ別紙計畫ニ據ルシ

七、美作命第二號聯隊命令拔萃左ノ如シ

一、聯隊ハ美作命第一號ニ基キ七月一日及二日、兩日ソレノヨリ

津田沼驛發門司ニ向テ前進セントス

二、第一次輸送指揮官ハ本職トス

第二次輸送指揮官ハ西村大尉トス

第三次輸送ニ関シテハ西村大尉區署スヘシ

三、第一次第二次輸送ノ人員、兵器資材ノ輸送ニ関シテハ美作命

第一號別紙ニ依ルテ外聯隊副官ノ指示ヲ受クヘシ

四、第一次輸送ノ本部及各隊ハ美作命第一號別紙第一ノ指

七月一日先住者ヲ引卒ヲ以テロニテ廠舎ヲ出發シテ三ノ近省線

津田沼驛ニ集合シ輸送各掛リノ指示ヲ受クヘシ

五、人員係及資材積込ノタメ人員ノ差出シ兵カハ美作命

別紙其ノニニ依ル

六、差出時刻ニ関シテハ森岡中尉區署スヘシ

七、空襲ヲ受ケタル場合ハ別ニ示ス

八、乘下車ハ喇叭一ノ聲ニ依ル

八、美日命第七號聯隊命令拔萃左ノ如シ

一、第一大隊 陸軍主計中尉 高木 賢三郎

第二大隊 陸軍主計中尉 富田 良夫

第三大隊 陸軍主計少尉 若林 善之

右頭書通分任資金前渡陸軍主計大尉柳素雄

取扱分任官ヲ命ス (六月三十日附)

九、現在人員左ノ如シ

將	二	校	一	見習官	准士官	二	下士官	六六	兵	三九〇	計	四七〇
---	---	---	---	-----	-----	---	-----	----	---	-----	---	-----

附表第

第三大隊本部編成表

官	氏名	官等	氏名
大隊長	西村信義	上等兵	田中定見
副官	尾崎良衛	上等兵	大川明
少尉	廣瀬勇	上等兵	柳田清
少尉	若林善之	上等兵	小泉克雄
少尉	井手口 兼	上等兵	佐藤信義
少尉	長谷川義之助	上等兵	岩淵舟一
少尉	菅主計	上等兵	菅原平
少尉	長 小 林 定 五 郎	上等兵	築取正己
少尉	長 須 藤 安 之 丞	上等兵	馬 上 弘
少尉	大 須 賀 繁 雄	上等兵	三 木 松 次 郎
少尉	上 等 兵 菊 地 繁 五 郎	上等兵	芳 賀 智
少尉	加 藤 善 次	上等兵	新 井 野 義 男

一 上等兵 藤野義男
 二 上等兵 加藤善次
 三 上等兵 菊地繁五郎
 四 上等兵 新井野義男
 五 上等兵 三木松次郎
 六 上等兵 芳賀智
 七 上等兵 馬上一弘
 八 上等兵 築取正己
 九 上等兵 菅原平
 十 上等兵 岩淵舟一
 十一 上等兵 佐藤信義
 十二 上等兵 小泉克雄
 十三 上等兵 柳田清
 十四 上等兵 大川明
 十五 上等兵 田中定見

附表第二

職名		官名		氏名	
大隊長	西村信義	大尉	西村信義		
副官	尾崎良衛	中尉	尾崎良衛		
副官	廣瀬勇	少尉	廣瀬勇		
主計	若林善之	主少尉	若林善之		
軍醫	井手口薫	軍中尉	井手口薫		
同	長谷川義之助	衛見士	長谷川義之助		
第七中隊長	高橋清一	中尉	高橋清一		
第六中隊長	菅原勇一郎	少尉	菅原勇一郎		
第五中隊長	中川善八	少尉	中川善八		
第四中隊長	佐々木經次	少尉	佐々木經次		
第三中隊長	関野信二	中尉	関野信二		
第二中隊長	石井義晴	中尉	石井義晴		

准尉以上職員表

職名	官名	氏名
中尉	三右	淺野惣七
曹長	一右	高橋由藏
軍曹	三名	中山富治
伍長	四名	小須田一平
上等兵	一右	徳丸諭
一等兵	一六右	伊藤宗藏
二等兵	一三右	佐々木七郎
計	五三名	佐藤一郎
		菅原泰三
		小畑源吉
		八島忠雄
		水村時雄
		板橋熊吉
		佐藤親雄
		佐藤清四郎
		今野春雄
		小椋芳雄
		紫山政男
		佐々木英一
		村上長之助

